

【9月1日（水）放送朝礼のお話】

全校のみなさん、おはようございます。42日間の長い夏休みが終わりました。

この長いお休みを、みなさんはどのように過ごしましたか？7月20日の放送朝礼でお話した、校長先生からの5つのお願いはいくつできたでしょうか？チェックしてみましょう。

1つ目は「安全な夏休みにしてください」です。休みの間学校には、事故や大きなけがの報告は入っていませんので、比較的守れたのではないのでしょうか。もし、皆さんの中で交通事故にあったり大きなけがをしたという人がいたら、担任の先生に報告をしてくださいね。

2つ目は「健康な夏休みにしてください」です。これも大きな病気などの報告はなかったので良かったと思いますが、今朝「起きるのが辛かったなあ」という人がいたら、早くリズムの整った生活に戻れるように努力しましょう。

3つ目の「出かけるときは、『誰と、どこへ行くのか。何時に帰宅するのか』を家族に伝える」は、どうでしたか？家族に心配をかけることなく過ごせたでしょうか。

4つ目の「宿題を早く済ませる」はどうでしょう。宿題以外にお手伝いや日頃できない趣味や新しいことにチャレンジできましたか？もしできた人は、後から担任の先生にお話をしてくださいね。

5つ目の、「オリンピックやパラリンピックで、世界レベルのスポーツをたくさん観ましょう」はどうですか？先生は、たくさんの種目をテレビで見ながら、声援を送ったり、感動をもらったりしました。オリンピックでは、メダルを獲ることが確実だと言われていた選手が、本番は力を十分発揮できず予選を通過できなかった種目がいくつもありました。オリンピックに向けての5年間の努力にも、そしてそれも結果として受け止めなければならない現実にも胸が痛みました。体操の内村航平選手が、しばらくたってから、テレビのインタビューで「現実を受け入れるのにずいぶんと時間がかかったこと」や「10月の世界体操選手権大会に向けてチャレンジをすること」を話している姿に、本当の強さを感じました。

また、今も開催中のパラリンピックも感動しながら見ています。選手には、生まれつき障がいのある人もいれば、事故や病気などで障がい者になった人もいます。一人一人障害の種類や程度

も様々です。中には一見すると障害があるようには見えない選手もいます。しかし、どの選手も今もっているものを最大限に生かし、記録にチャレンジする姿に心が震えます。皆さんは水泳の鈴木孝之選手の泳ぎを見ましたか？鈴木選手は、生まれた時から右腕の肘から先がなく、左手は指が二本と短い指が1本あり、右足は根本付近からなく、左足は膝下がありません。それでも、残ったからだの部位を巧みに使ってクロールや平泳ぎをし、たくさんのメダルを獲得しています。その陰には、想像もできないほどの努力があると思いますが、見ている人の胸を熱くします。

先生は、パラリンピックを通して、草平小学校の皆さんが、障がい者を正しく理解してほしいと思います。見た目で人を差別する人にならないでください。そして、自分の周りの人の、見えない困り感、気持ちや思いを汲み取れる人になって欲しいと思います。そして、皆さん自身も今ある自分の力を最大限に発揮して、目標をもって毎日を送って欲しいと願っています。

夏休みの5つのチェック。みなさんは、どうでしたか？

さて、新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、愛知県にも12日まで緊急事態宣言が出されています。6年生のみなさんが楽しみにしていた修学旅行も、再延期となりました。デルタ株と言って、今までよりも感染力が強く、子どもも重症化するリスクのある株が蔓延しています。

感染者が多すぎて、今までのように病院に入院したりホテル療養したりすることができなくなっています。さらに、このままでは普通にけがや病気をした人にも、医療が届かなくなる状況になってしまいます。

学校生活では、今まで以上に「マスク・手洗い・ソーシャルディスタンス」、「体調の悪い時は絶対に無理をしない」ことを意識して毎日を送らなければなりません。特に休み時間や給食の時間などの私語は慎んで、先生のお話をしっかりと聞きながら、指示を守って生活します。そして、草平っ子みんなで協力して、安心・安全な学校をつくりあげましょう。

最後に、4年1組担任の神野美沙希先生ですが、来月の出産に向けて明日からお休みに入ります。明日から「飯田愛加先生」が担任をします。神野先生には元気な赤ちゃんを産んでもらえるようにしましょう。そして飯田先生が早く草平小に慣れるよう、声をかけて下さね。

それでは、元気に9月をスタートしましょう！校長先生のお話を終わります。